

## 令和5年9月大竹市議会定例会(第4回)

### 一般質問通告表

1.

12番 山崎 年一 議員

質問形式：一問一答

#### マイナンバーカードとマイナ保険証について問います

マイナンバーカードと健康保険証一体化やマイナンバーの利用範囲を拡大するための改正関連法案は6月2日に参議院で可決されました。一連のトラブルについて現在までにどのようなトラブルが、どれくらいあるのか伺います。また、受け止めについても伺います。

マイナ保険証による受診トラブルが、全国で相次ぐ中で、8月8日に広島県保険医協会など3団体が広島県に「医療機関を受診する際は、従来の健康保険証を持参することを周知するよう求める」要望書を提出しました。医療機関でのトラブルについて、市内医療機関でのトラブル発生状況と内容について伺います。

制度が不安などの理由で、マイナンバーカードの自主返納が広がっています。本市の返納事例について伺います。返納があれば返納理由と返納に対する受け止めに伺います。

8月24日に厚労省は、マイナンバーカードで受診できるひも付けがされず、健康保険証代わりに利用できない状態が合計で、「約77万件あると公表。」ひも付けを担う健康保険組合などの該当者に通知するよう要請し、11月までに解消を目指すとしています。資格確認書を交付するとしています。資格確認書では有効期限ごとに更新が必要となり、作業を担う自治体や保険者の負担は、膨大なものとなりませんか。対応について伺います。

現在の紙の保険証を残し、マイナ保険証と併用して利用できるようにすれば膨大な実務は不要となります。政府に対して、紙の保険証廃止方針を撤回し、マイナ保険証との両方が使える制度とし、国民の中にマイナ保険証が浸透する方策を検討されるよう求められませんか。

#### 高齢者など社会的弱者対策「個別避難計画」、「孤立・孤独」対策、「身元保証や財産管理」、「老々介護」について問います

「個別避難計画」の作成について問います。自治体に対して、「個別避難計画」の作成が努力義務と位置付けられました。支援の優先度の高い人からの「個別避難計画」作成について取り組むべきと考えます。今後の取り組み「避難計画作成」についての考えを問います。

高齢者など社会的弱者の「孤独・孤立」対策について問います。政府は本年5月に孤独・孤立対策推進法を成立させ、来年4月から施行させます。高齢者やひとり親家庭、障害者や生活困窮者、刑務所出所者など住宅確保要配慮者である社会的弱者が増加しています。来年4月の法の施行を目前にして、法の設立趣旨の説明と本市の住宅確保要配慮者の現状と取り組みなど伺います。

高齢者の身元保証や財産管理などサポート事業について問います。総務省は8月、身元保証などの高齢者サポート事業について、事業者の全国調査結果を公表しました。高齢化率の上昇とともに単身世帯が増加し、被害防止の観点からも早期対応が求められます。本市の現状と課題、今後の取り組みを伺います。

「老々介護」について問います。「2022年国民生活基礎調査」では、「老々介護」の割合が過去最高になるなど、介護を担う家族の負担が極限まで重くなっていることが如実に示されました。本市の「老々介護」の現状と「老々介護」の解消に向けた取り組みを伺います。

2.

**13番 日域 究 議員**

質問形式：一問一答

### **国土調査の再調査に合わせて、固定資産税の課税方法の見直しを**

大竹市は昭和30年代を中心に国土調査を実施し沿岸部については終了したとされています。しかし、法務局の公図は精度が低く地籍図でありながら、精度は地図に準ずる図面に甘んじています。それをカバーするためか大竹市は公図と異なる地番図を作り、公図に記載がない不明土地についても、地番図に記載して課税を行っています。再度の国土調査を開始するタイミングに合わせ、公図にない土地についての課税を控えては如何でしょうか。公図にない土地の存在を無理に立証するよりも、早めにやめる方が賢明だと思います。

### **大竹市もPPAを導入し、CO2削減の先頭に立ちませんか**

今年も猛暑だらけの夏でした。どうしようもないとあきらめる前に、大竹市は環境省が後押しするPPAを導入し、少しでもCO2の削減に取り組みませんか。ソーラー機器が高く、電気が安かった時代は終わり、ソーラー発電のコストは下がったのに、電力会社の電気料金はなぜか高騰しています。全額民間資金で市庁舎の屋根などに機器を設置し、市役所をはじめ、発電量に余裕があれば近隣民間企業にも安くてグリーンな電力供給できるPPAを導入する自治体も増えています。まずは調査研究からですが、如何お考えですか。

3.

**15番 寺岡 公章 議員**

質問形式：一括

### **キャリアスタートウィークの成果と今後の取り組みについて**

目的や効果、実績について、直近の令和5年度事業の様子を振り返りながら、特に職種や地元への関心や理解につながっているか伺います。

また、過去に検討するとご回答いただいている、学校での生徒受け入れは現在どう扱われていますか。

### **学生インターンシップの受け入れについて**

前件のCSWとは、目的の趣が異なる部分も少々あるとはいえ、同様の手法から別の有為な目的を見つけられます。CSWの効果を認められるのであれば、受け入れノウハウを生かし広く募集しませんか。

特に毎年毎回、特定の技術職員の採用にはご苦労されているようですが、専門教科のある学校へのアプローチをしてはいかがでしょうか。

4.

**9番 中川 智之 議員**

質問方式：一問一答

### **発達性読み書き障害（ディスレクシア）について**

学習障害の1つに、読み書きに困難を感じるという特徴を持ったディスレクシアを小中学校においてどの程度認識し、把握されているのでしょうか。その認識、支援やサポートなどを伺います。

- ①公立小中学校においてディスレクシアの疑いある児童生徒をどの程度把握されているのでしょうか。また、早期に発見できるように専門医の診断も必要と思われませんが現在どのようなことが行われているのでしょうか。

- ②黒板をノートに書き写す代わりにタブレットで写真を撮る、宿題をタブレット端末で提出するなどタブレット端末の活用を促すことも必要だと思いますが、いかがでしょうか。
- ③合理的配慮への理解を他の生徒児童や保護者に周知することも必要です。特別扱いをしていじめにつながらないように、また、本人が合理的配慮を受けやすくするためにどのようなことが必要とお考えでしょうか。

5.

**5番 岡 和明 議員**

質問形式：一問一答

### 大竹駅伝の廃止と代替行事について

令和5年1月8日に予定されていた第70回大竹駅伝は、開催に向け準備が着々進行中とみられていましたが、開催まで2週間半に迫った令和4年12月19日、突如中止決定が通知されました。しかも、通知には「第70回大会は延期としない」とあり、実態は廃止決定でした。昭和27年に始まり70年という国内有数の伝統ある大会が突如廃止されたことに、参加・協力・観覧を予定していた人々は驚き、その他市内外の人々も理解に苦しみました。

駅伝をやめる理由や、代替行事とされる（仮称）晴海リレーマラソンに多くの疑問点があることから、下記3点にわたってお尋ねします。

- ①大竹駅伝をやめる理由。
- ②代替行事のコース問題。
- ③代替行事の名称問題。

6.

**14番 細川 雅子 議員**

質問形式：一問一答

### 市制施行70周年の事業について

来年度（令和6年度）は大竹市市制施行70周年を迎えます。

周年記念事業は毎回実施していると記憶していますが70周年はどのようにお考えでしょうか。

また、実施するとしてまちづくりの視点からどのような意義のある事業になるのでしょうか。

市民との協働を進めるうえでの考えをお尋ねします。

7.

**3番 豊川 和也 議員**

質問形式：一問一答

### NHKのど自慢の誘致を

まちづくりの文化芸術の振興において毎週日曜日12時15分から13時に放送されるNHKのど自慢の大竹市で開催の誘致をご提案いたします。

### 県の防災アドバイザーを大竹市在住の方で育成してほしい

広島県が認定している「防災アドバイザー」の役割は広島県内で自主防災組織を設立する際に準備をする段階で相談ができたり防災研修会での講師をしていただいたり、助言や指導を受けられますが、大竹市において現在は市外のアドバイザーの方が来られるので大竹市の

地形なども理解がしやすく災害が起こった際にも早く動きやすい市内在住の「防災アドバイザー」を育成すれば市民も相談しやすく大竹市での自主防災組織の設立率も上がるのではないかと。